

平成29年度 シラバス (課題研究)

学番 78 新潟県立海洋高等学校

教科(科目)	水産(課題研究)	単位数	2単位	学年(コース)	3学年(資源育成コース)
使用教科書	なし				
副教材等	乙種危険物取扱者 受験教科書				

1. 学習目標

水産生物研究に関する基本的な知識と技術を習得させ、科学的なものの考え方や態度を育成する。

2. 指導の重点

水産生物に対する興味・関心を高めるために

- ① 水産生物を対象としたテーマを設定し、考える力を身に付けることを目指します。
- ② 基本的な実験・観察を通して、科学的な考え方を身に付けることを目指します。
- ③ 実験結果を効率よくまとめ、わかりやすく発表する能力を身に付けることを目指します。

3. 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 6 7	テーマ設定	○水産生物を対象としたテーマの設定	○自ら設定したテーマに基づいて、基本的な実験や観察をする。	24	授業の取組・ 態度 レポート
9 10 11 12	実験・観察	○テーマに基づいた実験・観察	○テーマに基づいて、それぞれデータを取得しまとめる。	28	
1 2	まとめ	○レポートのまとめ	○得られたデータを効率よくまとめ、発表する。	12	

計 64 時間(55 分授業)

4. 課題・提出物等

定期的な実験・観察の中間報告会を行い進行状況について発表させます。またレポート等を提出もあります。

5. 評価の規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
水産生物に関心を持つとともに、積極的に授業に取組もうとしている。	実験・観察などを通して、科学的なものを見る能力が身に付いている。	水産生物に関する基本的な知識および観察・実験技能が身に付いている。	観察・実験・レポートのまとめ方に関する基本的な事項を理解している。
以上の観点を踏まえ、 ○ 研究への取組状況 ○ まとめ方・発表態度 などから総合的に判断します。			

6. 担当者からの一言

水産生物に関する実験・観察を通して、科学的な見方や考え方を身に付けさせることを重点とし、また、知的探究心を養い研究することの喜びを得るための学習を行います。

(担当：貝田雅志、増田真之介、渡邊憲一、伊藤東)